

保護者向け 児童発達支援 キッズ木馬 評価表 集計結果

(2022年3月実施)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見・ご要望など
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4	0	0	広く満足している。
	②	職員の配置数や専門性は適切ですか	3	1	0	職員数は適切だと感じる
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりなどの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	2	0	トイレはバリアフリーではないが角のある家具等にはスポンジガードを付けている。 危険箇所などはなく危険と感じたことはない
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	2	1	1	開所間もないせいか、事業所に慣れる事が前提の計画。
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	3	1	0	外出行事や毎日さまざまな活動があり満足している
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか	2	2	0	特にはないが近辺の老人ホームなどの訪問はあった
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4	0	0	事前説明をしっかりとしてくれた。 また何かわからないことがあれば電話で直ぐに対応してくれた。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	0	0	送迎時に1日の様子や今後のことを職員さんが話してくれています。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	2	2	0	特になし
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	3	0	家族参加の行事があり そこで家族同士の話す機会があった。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	0	即時に対応して頂いています。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通情報伝達のための配慮がなされているか	2	2	0	なされています。
	⑬	定期的に会報やHP等で活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子供や保護者に対して発信しているか	3	1	0	毎月の活動をメールで写真やお手紙にて拝見させて頂いています。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	4	0	0	特に問題ないです。
非常時の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	0	4	0	避難場所等の説明はあったが、マニュアルなどはみたことがない。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そのほか必要な訓練を行っているか	1	3	0	行っていた。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	4	0	0	楽しみにしています。
	⑱	事業所の支援には満足しているか	3	1	0	いつも親切に細かなアドバイスを頂いたりとても満足しています。

児童発達支援 キッズ木馬 自己評価表 令和3年度

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善中・工夫している点など
利用	利用定員が指導員配置等スペースとの関係で適切であるか	○			利用定員 10 名 実用使用面積 9.3㎡
体制	職員が配属は適切であるか	○			児童指導員を満了した。1日6-7名配置
設備	① 部屋の設備等について、 ② フォリーの設備が適切に なされているか				① 玄関外に置架り、フロア内はリアフリー、 ② イレに設置し入れない。 (対射測音機を)
③	記録設備を備えるためのPOC/Aイタクル (自機と振り廻り)に、広く職員が 参画しているか	○			毎日のミーティングで支援者、記録を活用し、 振り返りと支援目標の策定を行っている。
④	指導員の研修等を活用する等により アンケート調査を実施して保護者等の 意向等を把握し、施設改善に つなげているか	○			年1回、アンケートを実施。
⑤	この自己評価表の結果を、事業所の会議や ホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開。
⑥	第三者による外部評価を行い、評価結果を 施設改善につなげているか		○		実施出来ていない。今後、検討したい。
⑦	職員の資質の向上を行うために、 研修の機会を確保しているか	○			社内研修を行い、外部研修にも参加(主に正課)
⑧	① アセスメントを適切に行い、 子どもと保護者のニーズや課題を継続的に 分析し、支援者等がサービス 計画を作成しているか	○			契約時1回、その後の半年中、年2回のアセスメントを 行う。日々の配属を会議にて課題整理を行う。
⑨	② 子どもの遊び行動の状況を把握するため、 標準化したアセスメントツールを 活用しているか		○		自社のアセスメントシートを使用している。 社会性・生活能力検査を検討中。
⑩	③ 活動プログラムの立案をチームで 行っているか	○			日ごとの利用者の特性に応じて、立案と工夫を重ね 結果を確認している。
⑪	④ 活動プログラムが固定化しないよう 工夫しているか	○			認定前助成の工夫と学習や体験に合わせたアレンジを 常め、意に育育に取組めるようにしている。
⑫	⑤ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を 柔軟に対応して実施しているか	○			時間割と活動の流れをつくり、備わに必要な習習と 研修を行っている。
⑬	⑥ 子どもの状況に応じて、個別活動と グループ活動に配慮し合わせて放課後等 デイサービスを作成しているか	○			子どもの一人ひとりの状態を考慮しながらニーズに 合わせた形で取り組んでいる。
⑭	⑦ 支援開始前には職員間で必ず 打ち合わせをし、その日行われる支援の 内容・役割分担について確認しているか	○			日々の打ち合わせを行い、課題整理、支援上の注意、 引継ぎ事項、職員間の役割分担等を確認している。
⑮	⑧ 支援終了後には、職員間で必ず 打ち合わせをし、その日行われた支援の 振り返りを行い、気付いた点を共有 しているか	○			退園児の退園会を必ず送り迎えが早く、終了後の会議に 全員参加している。支援者や職員記録簿にて確認、 確認を行っている。
⑯	⑨ 日々の支援に備えて正しく配置を とることを徹底し、支援の継続改善に つなげているか	○			日々の記録や連絡帳などの活用で子どもの変化や課題等 気づいた事などをそれぞれが確認している。
⑰	⑩ 定期的にモニタリングを行い、 加療後等がサービス計画の見直し の機会を確保しているか	○			半年に1回はモニタリングを実施を行い、必要に応じて 支援、支援者方針を調整している。
⑱	⑪ ガイドラインの検討の機会を確保 し、職員間で確認を行っているか	○			ガイドライン検討を職員全員に促すように統一している。
⑲	⑫ 児童発達支援事業所のサービス 計画を地域の子どもの状況に即応した ものとするよう意識しているか				児童発達支援管理責任者または管理者が出席し必要に 応じて出席し、児童指導員も出席している。
⑳	⑬ 子どもの情報共有(情報開示・行事予定等 の連絡、子どもの下校時の 確保等) の連携(送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡)を適切に行っているか				基本、学校へ連絡することのないよう、保護者と通じ 学校予定を把握、事業所からは学校への送迎時間や環境 できる範囲を提出している。
㉑	⑭ 保護者が必要とする子どもを受け入れる 場合は、子どもの意向や連絡調整を 徹底しているか	-	-	-	保護者でない。
㉒	⑮ 保護者に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等との 間で連携しあっているか		○		児童発達支援事業所を利用していた子は引継ぎ事項を 書き添えてもらっている。
㉓	⑯ 学校を卒業し、放課後等デイサービス 事業所から障害児サービス事業所へ移 行する場合、それぞれの施設内容等 の連携を確保しているか	-	-	-	該当はない。
㉔	⑰ 児童発達支援センターや発達障害支援 センター等の専門機関と連携し、 助言や研修を受けているか			○	関係先ではない。今後、センター関係の研修などに 参加を検討している。
㉕	⑱ 児童発達支援センターや発達障害支援 センター等の専門機関と連携し、 助言や研修を受けているか			○	一人ひとりに対して交流目的がそれぞれ違う、事業所 として交流機を持つ予定なし。
㉖	⑲ 地域(自立支援) 協議会等へ積極的に 参加しているか			○	出席していない。 今後、積極的に参加していく。
㉗	⑳ 児童や子どもの状況を把握する とき、子どもの状況の把握や課題に ついて迅速な対応を行っているか	○			送迎時、連絡帳、電話、メールなどを使い分けて普段の 様子や利用時の様子について報告や確認を共有している。
㉘	㉑ 保護者の対応力の向上を徹底し、保護者 の対応力に対してアンケート・トレーニング 等の実施を行っているか			○	現在行っていない。今後検討したい。
㉙	㉒ 運営規定、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っているか	○			契約時に重要事項説明書を用いて説明している。
㉚	㉓ 保護者からの子育ての悩み等に対する 相談に適切に応じ、必要な助言と支援を 行っているか				対応している。送迎時だけでなく、メールや電話での 相談ニーズも高く、その都度面談や電話等を行っている。
㉛	㉔ 子どもの安全を確保し、保護者との 関係性を構築しているか		○		保護者の研修年度は1回実施。 本年度は2回予定している。
㉜	㉕ 子どもと保護者からの苦情について、 対応の体制を整備しているか				苦情のみでなく、意見も受け付け、迅速な対応を とっている。
㉝	㉖ 子どもと保護者からの苦情、苦情があった 場合に迅速かつ適切に対応しているか				毎月、15日前後に前月の活動の様子や来月の予定など した報告を提出している。
㉞	㉗ 苦情に迅速かつ適切に対応しているか				個人情報は厳格に管理している。
㉟	㉘ 苦情のある子どもや保護者との意思の 疎通や情報伝達のために配慮しているか				保護者には、速やかに電話かメールにて連絡している。
㊱	㉙ 事業所の行事に地域住民を招待する等 地域に開かれた事業運営を行っているか				現在出席していない。今後、検討していく。
㊲	㊱ 緊急対応マニュアル、防災マニュアル、 感染症対応マニュアルを策定し、職員や 保護者に周知しているか		○		マニュアルの策定はしているものの、保護者への周知は 不十分であるので今後、実施していきたい。
㊳	㊲ 非常災害の発生に備え、定期的に訓練、 発生時の必要事項を確認しているか				昨年年度1回実施。 今年度は2回予定している。
㊴	㊳ 虐待防止のため、職員研修機会を 確保する等、適切な対応を行っているか	○			定期的に虐待防止の会議を開催している。事例検討等。
㊵	㊴ どのような場合にもやむを得ず非常事態 を行うかについて、事前に決定し、 子どもと保護者に事前に十分に説明し 了解を得た上で、放課後等デイサービス 計画に記載しているか	-	-	-	現状、身体拘束が必要な対象児がいない。日常的に 他者や自他のある児童が利用となった場合は安全配慮 に配慮のうえ、保護者へ説明する。
㊶	㊵ 食物アレルギーのある子どもについて、 保護者の同意書に基づき対応がとれているか	-	-	-	現在、アレルギー対応が必要な児は入っていない が、アレルギー対応は必要でない。
㊷	㊶ ヒヤリハット事例報告作成して事業所内で 共有しているか	○			記録などを元に、短くか事例もあげ確認し状況共有 している。

(2022年3月実施)

保護者向け 放課後等デイサービスキッズ木馬 評価表 集計結果

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見・ご要望など
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	2	0	静かに出来る部屋など構造化を希望
	②	職員の配置数や専門性は適切ですか	9	2	0	職員数は適切だと感じる
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりなどの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	6	0	トイレはバリアフリーではないが角のある家具等にはスポンジガードを付けている。 危険個所などはなく危険と感じたことはない
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	5	6	0	開所間もないせいか、事業所に慣れる事が前提の計画。
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	8	3	0	外出行事や毎日さまざまな活動があり満足している
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか	6	5	0	特にはないが近辺の老人ホームなどの訪問はあった
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10	1	0	事前説明をしっかりとしてくれた。 また何かわからないことがあれば電話ですぐに対応してくれた。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10	1	0	送迎時に1日の様子や今後のことを職員さんがしてくれています。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7	3	1	特になし
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	6	0	年に2回、家族参加の行事があるのでそこで家族同士の話す機会があった。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	0	0	即時に対応して頂いています。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通情報伝達のための配慮がなされているか	8	2	1	なされています。
	⑬	定期的に会報やHP等で活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子供や保護者に対して発信しているか	5	5	1	毎月の活動をメール写真や月々のお手紙にて拝見させて頂いています。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	11	0	0	特に問題ないです。
非常時の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	4	2	避難場所等の説明はあったが、マニュアルなどは見たことがない。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そのほか必要な訓練を行っているか	2	8	1	行ってないと思う。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	10	1	0	楽しみにしています。
	⑱	事業所の支援には満足しているか	9	2	0	いつも親切に細かなアドバイスを頂いたりとても満足しています。

放課後等デイサービス キッズ木馬 自己評価表 令和3年度

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善点・工夫している点など
施設・設備	① 利用定員が児童福祉施設基準等と適合しているか	○			利用定員 10 名 事業所使用面積 93㎡
	② 職員配置は適切であるか	○			児童指導員配置を適した。1日6~7名配置
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		玄関内に段差あり。フロア内はバリアフリー。トイレに車いすは入れない。 (対象利用客なし)
	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎日のミーティングと支援メモ、記録を活用し、振り返りと支援目標の設定を行っている。
事業改善	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年1回、アンケートを実施。
	⑥ この自己評価表の結果を、事業所の会議やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	実施出来ていない。今後、検討していく。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			社内研修を行い、外部研修にも参加(主に正職)
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			契約時1回、その後半年毎、年2回のアセスメントを行う。毎日の記録を元に会議にて課題整理を行う。
	⑩ 子どもが適切な行動の状況を得るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		自社のアセスメントシートを使用している。SM社会生活能力検査を検討中。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		日ごとの利用者の特性に応じて、立案と工夫を重ね結果を評価している。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			固定化防止の工夫と季節や天候に合わせてアレンジを含め、楽しく運営に取り組みるようにしている。
事業の継続	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、保護者のニーズや課題に応じて、適切な支援を行っているか	○			時間ごとに活動の流れをつくり、個々に必要な運営と評価を行っている。
	⑭ 子どもが状況に応じて、個別活動と集団活動を選択し合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子ども一人ひとりの体調を考慮しながらニーズに合わせて内容で組み合わせている。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			日々の打ち合わせを行い、事業継続、支援上の注意、引継ぎ事項、職員の体調の崩れ等を確認している。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		遠距離の施設を含め送り迎えが多く、終了後の会議に全員参加は難しいが、支援メモや職員連絡帳にて報告、確認を行っている。
関係機関・団体との連携	⑰ 日々の支援に際しては記録をとることを徹底し、支援の継続改善につなげているか	○			日々の記録や連絡帳などの活用で子どもの変化や様子等気づいた事をそれぞれに記録している。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しが必要かを判断しているか	○			半年に1回は必ず計画の見直しを行い、必要に応じて保護士、児童指導員も再確認している。
	⑲ ガイドラインの趣旨や基本理念を職員間で共有して実施しているか	○			ガイドラインを職員全員に読むように統一している。
	⑳ 児童福祉施設支援事業所のサービス提供を他の児童福祉施設と連携して実施しているか	○			児童発達支援管理責任者または管理職が出席し必要に応じて保護士、児童指導員も出席している。
事業の透明性	㉑ 学校との情報共有(年計画・行事予定等の交換、子どもの支援計画の進捗等)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			基本、学校へ連絡することのないよう、保護者を通じて学校予定と把握。事業所からは学校への迎え時間や連絡できる範囲を提出している。
	㉒ 保護者がケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの生活環境と連絡体制を整えているか	-	-	-	該当はない。
	㉓ 既存取引していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で連携共有と相互理解を深めているか		○		児童発達支援事業所を利用していた子は引継ぎ内容を蓄積で共有してもらっている。
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から児童発達支援センター事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか	-	-	-	該当はない。
事業の持続性	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		現在実施していない。今後、センター関係の研修などに参加を検討している。
	㉖ 児童発達支援センターや児童福祉施設の交流や、協働がない子どもと活動する機会があるか		○		一人ひとりとって交流目的がそれぞれ違う為、事業所として交流機会を持つ予定なし。
	㉗ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		出席していない。今後、積極的に参加していく。
	㉘ 児童から子どもの状況を保護者や関係機関、子どもの発達状況や課題について共有しているか	○			送迎時、連絡帳、電話、メールなどを使い分けて保護者の様子や利用時の様子について報告や情報を共有している。
事業の責任	㉙ 保護者の対応方針の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		現在は行っていない。今後検討したい。
	㉚ 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に重要事項説明書を用いて説明している。
	㉛ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			随時行っている。送迎時だけでなく、メールや電話での対応ニーズも高く、その都度助言や確認を行っている。
	㉜ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		年2回、保護者会を開催している。
事業の発展	㉝ 保護者同士の連携を支援しているか		○		子育てだけでなく、意見も受け付け、迅速な対応をできるようにしている。
	㉞ 定期的に全職員を対象に、活動運営や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、15日前後に翌月の活動の様子や行事の予定を掲載した手紙を配布している。
	㉟ 個人情報に十分注意しているか	○			個人情報保護法に基づき厳格に管理している。
	㊱ 関心のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			保護者には、送迎時に電話かメールにて連絡している。
事業の持続性	㊲ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか		○		現在実施していない。今後、検討していく。
	㊳ 事業所利用マニュアル、利用マニュアル、活動対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		マニュアルの策定はしているものの、保護者への周知は不十分であるので今後、実施していきたい。
	㊴ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		昨年度は1回実施。今年度は4回予定している。
	㊵ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			定期的に虐待防止の研修を開催している。事例検討等。
事業の持続性	㊶ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、職員に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	-	-	-	現状、身体拘束が必要な対象児童はいない。日常的に障害のある児童が利用となった場合は支援計画上に記載のうえ、保護者へ説明をする。
	㊷ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか	-	-	-	現在、アレルギー対応が必要な受け入れはないが、ある場合は、連絡体制を設ける。
	㊸ ビキリハット事業所を作成して事業所内で共有しているか	○			記録などを元に、近やかな事業所もあわせて共有している。